

令和07年度 第4回 荏原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和08年03月02日 午前02時30分～午前04時30分

開催場所	荏原警察署 講堂	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 事件検挙事例
地上げ目的の連続放火犯人を検挙し、大きく報道された。引き続き捜査をしている。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について
中原街道平塚交差点付近の路地は歩行者が多いが、車両が中原街道から急いだ様子で右折進入し危険であるため、対策を講じてほしい。
【取組】東京都と連携し、歩行者注意を喚起させる横断幕を交差点に設置した。
- 3 前年中の特殊詐欺被害認知状況
 - (1) 被害認知件数
14件(前年比+1件)
 - (2) 1件増加したものの、他署と比較して認知件数は非常に少ない。
- 4 前年中の自転車盗難被害認知状況
 - (1) 被害件数
169件 前年比-9件
 - (2) 全体的に減少した。
- 5 交通人身事故発生状況(前年中)
 - (1) 発生件数
226件(前年比-25件)
 - (2) 死者数
1件

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 自転車盗難追跡対象タグの取付け
ア 無施錠等の盗難被害の恐れがある自転車に、タグを取り付けて被害防止対策をした。
イ 被害件数が年間で9件減少した。タグを取り付けた自転車が盗難された例はなかった。
 - (2) 特殊詐欺被害の防止件数
ア 署のウェブサイトが表示されるQRコードを記載したカードを配布し、特殊詐欺の手口や被害防止対策を周知させている。
イ 他署と比較して被害認知件数は少なく、被害未然防止件数は非常に高い。カード配布の効果で、住民の「街を守る意識」が非常に高いと言える。
 - (3) カード配布を通じた交通ルールの周知
QRコード付きカードによる広報効果を、交通安全にも発揮させるべく、配布を推進している。
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 自転車の交通違反の取締りが開始されることの広報を目にするが、どのような行為が違反なのかを更に周知させてもらいたい。
 - (2) 商店街付近の交差点に、店の置き看板や駐輪自転車が、自動車の通行の妨害になっている。

[その他の意見要望等]

- 1 各自治体の犯罪件数を色で示す地図をインターネット上で閲覧した。品川区は周囲と比較して治安が良いと表示されており安心した。

2 地区に設置された防犯カメラの多くが故障しており、その運用について町会と商店街とで話し合っている。警察が主導してほしい。

その他

令和07年度 第3回 荏原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年12月01日 午後02時30分～午後04時30分

開催場所	荏原警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、交通課長代理の出席について各委員の了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
 中原街道平塚交差点付近の路地は歩行者が多いが、車両が中原街道から急いだ様子で右折進入し、危険であるため、対策を講じてほしい。
 【取組】東京都と連携し、歩行者注意を喚起させる横断幕を交差点に設置する計画である。
- 2 特殊詐欺被害認知状況（11月末時点）
 - (1) 被害認知件数
 12件（前年比±0件）
 - (2) 5月以降発生件数を抑え込んでいる。
- 3 自転車盗難被害認知状況
 - (1) 被害件数（11月末時点）
 153件
 - (2) 全体的に減少し、特に電動アシスト自転車の被害は著しく減少した。
- 4 交通人身事故発生状況（11月末時点）
 - (1) 発生件数
 204件（前年比-29件）
 - (2) 負傷者数
 211人（前年比-38人）
 - (3) 死者数
 1人

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 自転車盗難追跡対象タグの取付け
 ア 無施錠等の盗難被害のおそれがある自転車にタグを取り付けて被害防止対策をしている。
 イ 被害件数が22件であった5月以降減少傾向であり、11月は6件であった。電動アシスト自転車の被害は毎月4～5件の発生があったが、7月以降は0～1件で推移している。
 - (2) しながわコンビニサポートポリス
 ア 制服警察官がパトカーや自転車でコンビニエンスストアを積極的に利用し、見せる警戒活動を行う。
 イ 万引きに関する110番通報が10月以降0件である。
 - (3) 自転車の交通違反への反則切符適用
 ア 自転車利用者の交通ルール遵守を図り、自転車に起因する交通事故を抑止することが目的である。
 イ 反則切符が適用される交通違反の例を紹介した。
 - (4) 品川区「まもるっち」との連携
 ア 品川区内の小学校児童にGPS通話機能付き防犯ブザーを配布している。
 イ 区担当者が、当庁通信指令本部に事前に説明に伺っている。
 ウ まもるっちを通じて、児童虐待として対応し児童が守られた事例がある。
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 中原街道の自転車レーンが駐車車両で塞がれていることが多い。自転車が車道にはみ出して運転することになり危険である。
 - (2) 中原街道の右折車両が危険である件の対応が迅速で驚いた。自転車のタグ付けによる被害の抑止効果もすごい。警察官をコンビニでよく見かけるようになり安心している。

(3) 自転車の警察官が一方通行逆走車を止めて注意をしているのを見かけた。取り締まっている様子はなく、警察官は立ち去った後、その車両は逆走を続けていた。取り締まらないこともあるだろうが、違反車両を誘導する措置をするべきと思った。

[その他の意見要望等]

- 1 機動隊新隊員訓練を見学したが、警察は大変だと感心した。
- 2 近所で「事故がありました」という内容の立て看板で見掛けた。このような看板がきっかけで解決した事例があれば教えてほしい。

その他

令和07年度 第2回 荏原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年09月18日 午後02時30分～午後04時30分

開催場所	荏原警察署 講堂	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
商店街の入り口に駐輪している自転車が、自動車の通行の妨げとなっているため、対策を講じてほしい。
【取組】品川区と連携し、駐輪禁止を明確化することで改善した。
- 2 震災警備総合訓練の視察
(1) 緊急交通路確保訓練
(2) 救出救助訓練
(3) 各種資機材の機能説明
- 3 祭礼警戒
事前に町会との十分な打合せを行い、適切な自主警備が行われた。
- 4 特殊詐欺被害認知状況(8月末時点)
(1) 被害認知件数
11件(前年比±0件)
5月以降減少し続け、8月は発生なし。
(2) 被害額
約6,020万円
他署に比べ、被害額は少ない。
- 5 交通人身事故発生状況(8月末時点)
(1) 発生件数
97件(前年比-33件)
(2) 負傷者数
100人(前年比-43人)
(3) 死者数
1人

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
(1) 特殊詐欺の手口等の広報
ア EBARAカードの配布
荏原署のウェブページにアクセスできる二次元コードを掲載したカードの配布
イ 広報紙様式の統一
街頭掲示板等に掲示する広報紙の様式を統一し、荏原署からの広報であると判別しやすくした。
(2) 自転車盗難被害状況
ア 被害件数が22件であった5月以降減少し続け、8月は5件であった。
イ 盗難追跡対象タグの取付の効果が出ている。
(3) 交通ルール守ってイイね!コンテストの実施
ア 交通ルールを守る子供たちを褒めてカードを手渡す。
イ 良いことをして警察官に接することで非行防止にもつなげたい。
(4) 荏原交通安全の集い
ア 一日署長として、お笑い芸人の「ひょっこりはん」を招いた。
イ 警察官によるミュージカル等を行い、自転車用ヘルメット着用等のマナーを啓発した。
(5) コンビニエンスストアとの連携強化
駐車場を備えたコンビニエンスストアに対して、警察車両の警戒活動への協力を依頼した。

2 協議会からの意見要望等

- (1) 両社祭の参加者と観覧者が増えており、町会による自主警備には限界がある。
【回答】自主警備では不十分な箇所に警察官を配置したほか、突発事案に対応する態勢を整えている。
- (2) 震災警備総合訓練の交通路確保訓練が近所で行われていた。長く住んでいるが、初めて訓練のことを知った。
- (3) 交通安全の集いはとても楽しく、警察官の踊りが上手で驚いた。警視庁音楽隊の演奏も素晴らしかった。

[その他の意見要望等]

- 1 商店街の路上駐輪問題は解消したが、路上駐輪をしていた自転車がどこに留まるようになったかを確認したい。商店街やその付近に駐輪場を設けなければ解消されないと思う。
【回答】商店街に駐輪場が設けられてるため、商店街主導で駐輪場の利用を促したい。
- 2 近隣でゲリラ豪雨による冠水被害が多かった。警察はこのような事態にどういった活動をするのかを教えてほしい。
【回答】冠水の予防や解消は道路管理者が行う。警察は通行人等に対して、危険箇所に立ち入らないよう警告や避難等の措置を行う。

その他

令和07年度 第1回 荏原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年06月18日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 荏原警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。
また、交通課長の同席について、各委員の了承を得た。

[業務説明]

- 1 警察署協議会について
 - (1) 警察署協議会の概要
設置経緯、役割等
 - (2) 昨年の視察実施状況
 - ア 小学校における不審者対応訓練
 - イ 警察署一日体験
 - ウ 機動隊観閲式
 - エ 皇宮警察の活動
 - (3) 今後の視察予定
 - ア 警察学校卒業式
 - イ 区民の集いにおける防犯講話
 - ウ 震災警備総合訓練
 - エ 各種術科大会
- 2 荏原警察署の紹介
 - (1) 荏原警察署の概要
 - (2) 荏原警察署の沿革
- 3 特殊詐欺被害認知状況（5月末時点）
 - (1) 被害認知件数
7件（前年比 - 2件）
 - (2) 被害額
約5,410万円（前年比 + 2,460万円）
- 4 自転車盗難被害状況
電動アシスト自転車とスポーツタイプの自転車が盗まれる被害は、施錠の有無に関係なく増加している。
- 5 交通人身事故発生状況（5月末時点）
 - (1) 発生件数
53件（前年比 - 20件）
 - (2) 負傷者数
79人（前年比 - 4人）
 - (3) 死者数
1人（4年間連続0の記録がストップした）

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 特殊詐欺対策
検挙対策と同時に被害の抑止対策を強化している。巡回連絡を軸とした被害防止対策を継続して推進していく。
 - (2) 自転車盗難対策
盗難対象となりやすい自転車に警察署の電話番号を記載したタグを取り付けて、連絡をしてきた所有者に対し、盗難対策の指導をしている。
 - (3) 死亡事故発生に伴う交通対策
 - ア 横断歩道近くの植え込みの撤去など、道路環境の整備を進めている。
 - イ 安全教育や交通違反の指導取締りを通じて、交通安全について継続して訴えていく。
- 2 協議会からの意見要望等

- (1) 幼児のストライダー、電動キックボード、モペットの危険運転が目につく。
- (2) 商店街の入り口に駐輪している自転車が多く、自動車の通行の妨げとなっているため、対策を講じてほしい。
- (3) 自転車の交通違反にも反則切符が適用されるようになると報道で知った。取締りが始まる前にイヤホン使用や傘差し運転等が違反となることを周知してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 性犯罪に遭う児童の話を目にする。品川区の83（ハチサン）運動等の民間のパトロール運動は効果的であると思うが、民間パトロール運動の現状を知りたい。
- 2 カーブミラーの向きが曲がっていることを交番で相談をしたら、すぐに対応してくれて安心した。

その他

令和06年度 第4回 荏原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年03月14日 午後02時30分～午後04時30分

開催場所 荏原警察署 講堂

出席者 協議会委員 7名
署長ほか 3名

内容

- 1 次期会長の互選を実施した。
- 2 会議に先立ち、交通課長代理の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

特殊詐欺被害認知状況

- (1) 被害認知件数
 - 令和6年中 13件(前年比11件減少)
 - 令和7年2月末 2件(前年同期比3件減少)
- (2) 被害額
 - 令和6年中 約5,070万円(前年比約3,710万円減少)
- (3) アポ電の入電件数
 - 令和6年中 357件
 - 令和7年2月末 74件

2 交通人身事故発生状況(令和6年中)

- (1) 警視庁管内の情勢
 - 発生件数は減少したが死者数と負傷者数は増加した。
- (2) 荏原署管内の情勢
 - ア 発生件数 259件(前年比9件減少)
 - イ 負傷者数 259人(前年比14人減少)
 - ウ 死亡事故「ゼロ」の継続
令和3年1月13日以降、4年間発生なし
 - エ 自転車の関与率と対策
 - (ア) 自転車に関与する事故が事故全体の約6割を占めている。
 - (イ) 自転車のマナー向上と事故防止が重要な課題

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 詐欺被害対策
 - ア 還付金詐欺対策
ATMの付近に警察官を配置したり、ポスターを貼って注意喚起している。
 - イ オレオレ詐欺、キャッシュカード詐欺盗対策
被害者宅の周辺に警察官を配備し、現金やキャッシュカードを受け取りに来た犯人を検挙する。
 - ウ 警察をかたったオレオレ詐欺対策
戸別訪問や車両による広報啓発活動を行い、詐欺の手口を周知することで注意喚起をしている。
 - エ 金融機関やコンビニエンスストアとの協力
昨年は詐欺被害の未然防止が金融機関で6件、コンビニエンスストアで14件あり、特殊詐欺の抑止対策として大きな役割を果たしている。
 - (2) 交通事故防止対策
「通学路安全運転呼びかけ隊」等の地域住民による交通事故防止対策について
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 特殊詐欺の電話を看破して金銭被害がなかったとしても、最初にだまされて個人情報教えてしまっていることが多い。口座や携帯電話番号を変更する等の手続をしなければならないため、特殊詐欺の発生を抑止してもらいたい。
 - (2) 自転車利用者の交通事故抑止とマナー向上のため、自転車の購入時に免許更新の際に視聴するような教養動画を見せることを検討してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 警察は地域住民が提案したことについて即座に取り組んでくれる先進的な行政機関であると思う。

2 警察学校の卒業式を視察し、今後の警察を担う若い警察官の姿を見て、頼もしく感じた。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第3回 荏原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年11月26日 午後02時30分～午後04時30分

開催場所 荏原警察署 講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、生活安全課長の出席について了承を得た。

[業務説明]

- 1 警察武道の概要と必要性
- 2 委員の視察活動
 - (1) 剣道特別訓練員の紅白試合
 - (2) 今後の視察予定
- 3 交通環境の改善
 - (1) 実施内容(規制の変更)
中原街道の時間帯による車線規制(リバーシブルレーン)の廃止
 - (2) 変更による効果・影響
 - ア 下り車線
車線の増加により大幅に交通円滑性が向上した。
 - イ 上り車線
車線の減少により交通円滑性の悪化が若干認められる。
 - ウ 交通事故の危険性
逆走車両による正面衝突事故の危険性が減少した。
- 4 特殊詐欺被害認知状況(令和6年10月末時点)
 - (1) 被害件数
13件(前年同期比2件減少)
 - (2) 被害額
約5,070万円(前年同期比約1,530万円増)

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 若年層を闇バイトに加担させないための対策
 - ア 闇バイトの実態と概要
 - イ 広報啓発動画の紹介
 - ウ 若年層へのアンケート調査結果
闇バイトに加担してしまった際の相談相手
 - エ 親や保護者等による協力の必要性
 - オ 窃盗、強盗被害に遭わないための対策
 - (2) 交通事故発生状況(10月末現在)
 - ア 都内情勢
発生件数、負傷者数ともに増加
 - イ 管内情勢
 - (ア) 発生件数
209件(前年比1件減少)
 - (イ) 負傷者数
130人(前年比21人減少)
 - (ウ) 死亡事故「ゼロ」の継続
令和3年1月13日以降、3年10か月間発生なし
 - (エ) 自転車の関与率と対策
 - ・ 事故全体の約5割に自転車が関与
 - ・ 自転車のマナー向上と事故防止が重要な課題
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 管内の闇バイトの実情について教えてほしい。
 - (2) 交通事故防止対策について
 - ア 自転車の取締りを強化しているようだが、具体的な取締り実施状況を教えてほしい。
 - イ 歩行者天国の商店街に進入する車両への対応を教えてほしい。
 - ウ 商店街の青果店が道路に商品を陳列して交通の妨害になっているため、対策を講じてほしい。

エ 横断歩道の歩行者を優先しない高齢者ドライバーを見かけるが、対策を講じているのか。
オ 交通事故を目撃して110番通報したところ、つながるまでに予想以上に時間を要した。

[その他の意見要望等]

自転車窃盗の検挙状況資料を見て、近所でこんなにも被害があるのかと驚いた。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第2回 荏原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年09月19日 午後02時30分～午後04時30分

開催場所 荏原警察署 講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 4名

内 容

会議に先立ち、交通課長代理、交通執行係長の出席について各委員の了承を得た。

[業務説明]

- 1 通常点検について
概要及び必要性
- 2 委員の視察活動
 - (1) 不審者対応訓練
品川区立源氏前小学校で刺股を使用した訓練
 - (2) 警察署一日体験
ア 採用試験の受験希望者を当署に招致
イ 鑑識業務の体験、警察業務の見学等を実施
 - (3) 今後の活動予定
- 3 震災警備総合訓練の実施結果
 - (1) 仮想被留置者避難誘導訓練
 - (2) 多数死体取扱要領訓練
 - (3) 緊急交通路確保訓練
 - (4) 救出救助訓練
 - (5) 被害情報収集訓練
- 4 特殊詐欺被害認知状況(令和6年8月末時点)
 - (1) 被害件数 10件(前年比2件増)
 - (2) 被害額 約5,000万円(前年比約3,730万円増)

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 交通事故発生状況(8月末現在)
 - ア 都内情勢
発生件数、負傷者数ともに増加
 - イ 管内情勢
 - (ア) 発生件数 117件(前年比50件減少)
 - (イ) 負傷者数 130人(前年比21人減少)
 - (ウ) 死亡事故の発生
令和3年1月13日以降、3年8か月間発生なし
 - (エ) 自転車の関与と対策
 - ・ 事故全体の約5割に自転車が関与
 - ・ 自転車のマナー向上と事故防止が重要な課題
 - (2) 交通環境の改善
 - ア 実施内容(規制の変更)
中原街道の時間帯による車線規制(リバーシブルレーン)の廃止
 - イ 変更の理由と効果
 - (ア) 下り車線は通行車両の増加による交通円滑性の悪化がみられ、車線構成を変更することで円滑性向上が見込まれる。
 - (イ) 上り車線の通行車両は減少傾向で、車線構成を変更しても交通の円滑性は確保される。
 - (3) 例大祭に伴う交通対策の実施結果
 - ア 道路使用許可申請に向けた相談の早期受付
 - (ア) 7月から始まる申請に向けて5月から事前相談を受付
 - (イ) 電話又は来署による受付
 - (ウ) 申請者に対する助言
 - ・ 危険箇所を回避するコースへの変更
 - ・ 幹線道路通行時間帯の変更
 - イ 山車等通行時の警戒
 - (ア) 警察官による交差点配置
 - (イ) 山車の後方警戒

- (4) 秋の全国交通安全運動
9月21日から9月30日までの間
- 2 警察署協議会からの意見要望等
- (1) リバーシブルレーンの規制廃止による交通の円滑化を期待している。
- (2) 道路使用許可の事前相談について、申請内容の的確なチェックのおかげでトラブルがなかったので感謝したい。
- (3) 近年、いわゆるレンタルカートが公道を走行するのを見掛けるようになったが、法律上どのような車両に該当するのか教えてほしい。
- 【回答】・ 「ミニカー」という車種に区分され、ヘルメット着用は不要で、公道の走行自体は違反ではない。
・ レンタル業者の営業時間中に走行しており、車高が低く視認性が悪いため、警察から業者に対して、旗の掲示等を指導している。
・ 当署管内では物件事故が1件発生しており、苦情等は受理していない。

[その他の意見要望等]

警察署一日体験を視察して、参加した学生たちの意気込みが感じられた。彼らが将来警察官になってくれたら嬉しく思う。

その他	会議前に、通常点検及び短時間逮捕術訓練を視察した。
-----	---------------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第1回 荏原警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年06月13日 午後02時30分～午後04時50分

開催場所	荏原警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 3名
------	----------	-----	---------------------

内容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員の了承を得た。

[業務説明]

- 1 警察術科について
 - (1) 警察術科の成り立ち
 - (2) 警察術科の必要性
 - (3) 過去の事例
 - (4) 当署での取組状況
- 2 委員による視察状況について
 - (1) 交通安全区民のつどい
4月10日、「きゅりあん」にて実施
 - (2) スケアード・ストレイト方式による交通安全教室
4月13日、荏原第一中学校にて実施
 - (3) 自転車安全教室
5月18日、上神明小学校にて実施
- 3 今後の各種警察活動予定について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 特殊詐欺対策
 - ア 特殊詐欺被害防止月間の実施結果
 - (ア) アポ電入電数は前年比で増加
 - (イ) 被害発生なし
 - イ 認知状況(令和6年5月末現在)
 - (ア) アポ電の入電数は前年比で減少
 - (イ) 認知件数、被害額は前年比で増加
 - (2) 交通安全対策
 - ア 春の全国交通安全運動実施結果
発生件数、負傷者数ともに増加
 - イ 管内交通事故発生状況(令和6年5月末現在)
 - (ア) 発生件数、負傷者数ともに増加
 - (イ) 事故の特徴
 - ・ 自転車関与率が65%
 - ・ 住宅街での出会い頭の事故、単独転倒事故が多発
 - ・ 当事者の年齢は65歳以上が多数
 - ウ 交通取締計画
 - (ア) 取締管理計画(令和6年下半期)
 - ・ 交通事故実態に即した指導取締りの推進
 - ・ 中原街道、第二京浜、補助26号線を中心に指導取締りを実施
 - ・ 取締りの重点対象は自転車、二輪車、貨物車
 - ・ 電動キックボード、ペダル付き原動機付き自転車(モペット)に対する取締りを推進
 - (イ) 速度取締指針
第二京浜、中原街道、補助26号線、補助46号線を中心に速度超過違反の取締りを実施
 - (ウ) 駐車監視員活動ガイドライン
令和7年は新たに、昭和通り、四間通りを重点路線に指定予定
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 特殊詐欺対策について
最近、区役所をかたる電話が多く、比較的若い人が言葉巧みに騙されてしまう例もあると聞いたが、対策を講じているか。
【回答】注意喚起のチラシを配布するなどの対策によって発生抑止に努めていく。
 - (2) 交通安全対策について

- ア 電動キックボードの交通事故発生状況や取締りの状況を教えてください。
 【回答】令和6年3月以降、交通違反の取締りが26件。飲酒運転3件を確認し、うち1件を事故として捜査中
- イ 自転車安全教室はとても良い施策なので今後も継続してほしい。16歳以上の自転車利用者に反則金を適用すると聞いたが、運転免許を取得していない人に、どのように交通ルールを周知していくのか。
 【回答】自転車安全教室は小学校、中学校を通して段階的に行っており、今後も継続的に実施し、交通ルールの周知を図っていく。

[その他の意見要望等]

- 1 秋季例大祭に関して、現在の状況を教えてください。
 【回答】5月現在、67団体中32団体から相談を受け、そのうち2団体についてはコース変更等によって改善が見られる。
- 2 休日の商店街等、人が多く通行する時間帯にパトロールしてもらえると、より犯罪や事故の抑止力となって効果的だと思う。
 【回答】休日、平日、昼夜問わずパトロールを実施しているところだが、一層効果的な街頭警察活動に努めていく。

その他	会議前に、柔道紅白試合及び総合対処訓練を視察し、選挙に関する留意事項について確認した。
-----	---

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。